

豊間根保育園を民営化

「社会福祉法人三心会」が平成18年4月から運営

保育園設置条例の一部が改正され、原案のとおり可決されました。これは、町で進めてきた豊間根保育園の民営化の引き受け法人が決定したことによるもので、平成十八年度から豊間根保育園の運営は「社会福祉法人三心会」に移管されることになりました。

町内の保育施設は、町立が四施設、私立が五施設ありますが、出生数の減少や保育園全体の定員数の減少という状況の中で、山田町行政改革大綱や就学前施設運営検討委員会から「民間にできることは民間で」との提言がなされました。これを受けて、町では民間の力を借りながら、可能な限り多様な保育メニューが提供できるようにし、保育施設全体の質の向上につなげるために保育園の民営化を進めてきました。

間で行い、応募法人の書類審査・面接会などを実施した結果、同法人を引き受け法人として決定しました。また、豊間根保育園の民営化が決定したことに伴い、引き受け法人に対して、園舎を無償で譲渡することも決まりました。

主な質疑の内容は次のとおりです。

問 町の姿勢は「民間にできることは民間に」との

考えである。受け手がない場合の考え方は。

答 方針とすれば可能な限り民営化を進めるが、受け皿がない場合は、町の責任で継続する。

問 民営化により保育水準が低下しないか。

答 保育メニューを増やし、保育サービスを上げてもらうことで応募をいた

だいた。引き受け法人とは連携をとり、進めていく。

4月1日から民営化となる豊間根保育園



4月1日から民営化となる豊間根保育園

山田町林産物展示販売施設（道の駅やまだ）の管理について、山田町特産品販売協同組合を指定管理者として指定することが決まりました。

指定管理者制度は、多様な住みニーズに対応するため、効率的に対応するため、公の施設の管理に民間の能力を活用し、住民サービスの向上と経費の節減などを図ることを目的とするもので、

「道の駅」の指定管理者を指定

山田町特産品販売協同組合が管理・運営



4月1日から指定管理者として「山田町特産品販売協同組合」により管理・運営が行われる「道の駅やまだ」

三陸の海を放射能から守る 議員発議の意見書を可決

「三陸の海を放射能汚染から守ることを求める意見書」が議員発議され、原案どおり可決されました。

これは、青森県六ヶ所村に建設された核燃料再処理工場で予定されている、使用済み核燃料を使用している試験操業により、処理の過程で生じるトリチウムやヨウ素、プルトニウムなどの放射能を含む廃液が排出されることから、放射能から三陸の海と漁業、食の安全と住民の健康を守るため、▽安全が確認されるまで試験操業の中止▽三陸沿岸の漁場、海水浴場などで再処理工場



この豊かな山田湾をいつまでも

による環境影響評価の実施をを求めるものです。この他、五件の意見書が発議され、政府関係機関へ提出されました。

吉田さんを人権擁護委員に再推薦



吉田徳右工門さん

平成十八年三月三十一日に任期満了となる人権擁護委員の吉田徳右工門さん（六）を、同委員候補者として再推薦することが決まりました。任期は三年間です。

第2回臨時会

第2回臨時会が、11月28日に開かれました。町からは、人事院勧告による一般職の給与に関する条例改正案など3件が提案され、審議の結果、全て原案どおり可決されました。

人事院勧告により給与を改定

人事院勧告に基づく国家公務員の給与改定を受け、町もこれに準じて職員の給与を改めることになりました。今回の改正は、▶扶養手当（配偶者分）月額13,500円を13,000円に減額▶期末手当を一人当たり約1万6千円減額▶月額給料を0.3%引き下げ▶勤労手当の支給割合を0.05月分引き上げ—する内容。これにより、今回の人事院勧告での人件費の総額は、全体で約60万円の減額となります。

一般会計に3,628万円を追加

一般会計に三千六百二十八万円を追加するなど、補正予算七件が提案され、審議の結果すべて原案のとおり可決されました。

- 今回の一般会計の補正は、国県支出金の内示に基づく事業費の増減や組み替え、現時点における町税収入の見込み増、財政調整基金繰入金の減額などが骨子で、主なものは次のとおり。
- ▽町民税：三千七百八十一万円の増
- ▽地方交付税：六千二百五万円の増
- ▽民生費国庫負担金：千一十万円の増
- ▽財政調整基金繰入金：八千万円の減
- ▽国有提供施設等所在市町村助成交付金（本町の自衛隊施設が基地交付金の対象施設に指定されたことにより）：五百七十四万円の増
- ▽社会福祉総務費：千四百九十二万円の増
- ▽道路総務費：三百五十万円の増
- ▽土木施設災害復旧費：二百萬円の増